各　位

2026年11月20日
株式会社キャスター

「うちのサイト、関係ある？」
キャスター、Web棚卸し・暫定テストを行う
『CASTER NEO Patch & Test』先行トライアル開始

PHPなどの脆弱性ニュースに備える第一歩を、「AI×ヒト」で支援



株式会社キャスター（本社：宮崎県西都市、代表取締役：中川祥太、以下「キャスター」）は、PHPの重大な脆弱性が報じられる中、EC-CUBEやWordPressなどで構築されたWebサイト・ECサイトの構成を「棚卸し」して見える状態にし、画面表示の「暫定テスト」まで行う新メニュー「CASTER NEO Patch & Test」の先行トライアルを、2026年11月20日より開始いたします。本トライアルは、対象条件を満たす既存契約顧客自身のサイトを対象とする、上限10社・3か月の試行であり、ご利用には個別合意書の取り交わしが必要となります。 オンラインアシスタント「CASTER BIZ assistant」、およびAIアシスタント「CASTER NEO Assistant」のご契約時間の中で、ご利用いただけます。
サービスサイト：https://cast-er.com/patch-test/

■ 背景：脆弱性ニュースのたびに、「うちのサイト、関係ある？」と聞かれ、答えられない

2026年10月、PHPに深刻度9.2（CVSS v4.0）の脆弱性が2件同時に公表され、PHP開発チームが10月21日に修正版をリリースしました。認証なしで任意のコードを実行されるおそれがあるとされ、欧州連合のサイバーセキュリティ機関や米国国家安全保障局などが、PHPを利用するシステムの更新を呼びかけています。ここで問われるのが、「うちのサイト、関係ある？」という問いです。

ECサイトや予約サイトの多くは、EC-CUBEやWordPressなどのテンプレート・CMSをもとに構築されています。そして、「公開したまま誰も手を入れていない」サイトには、次のような理由があると考えられます。

- 作ったまま止まっている： 公開後、システムの更新が一度も行われていない。
- 制作会社も気づいていない： 保守契約がない、または切れており、委託先自体が危険性を把握していない。
- 更新で壊れるのが怖い： レイアウト崩れや機能停止を恐れ、社内にリソースや知見もないまま放置されている。

購入・予約・会員登録などでお客様の個人情報を預かるサイトでは、脆弱性リスクへの対応の遅れが事業上のリスクにつながるおそれがあります。とはいえ、脆弱性を抜きにしても、まずは「自社のサイトが何でどう構成されているか」を把握していなければ、影響の有無すら判断できません。

※出典：
PHP開発チーム告知（2026年10月21日）
https://www.php.net/archive/2026.php
欧州委員会・ENISA等の共同声明（2026年10月21日）
https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/news/joint-statement-critical-php-vulnerabilities
NSA声明（2026年10月21日）
https://www.nsa.gov/Press-Room/Press-Releases-Statements/Press-Release-View/Article/4630238/nsa-advisory-critical-patches-recommended-for-php-vulnerabilities/

■ サービス提供の目的：AI×ヒトで「専任の情シスがいない」企業を支援

キャスターは、AIとヒトの協働でバックオフィス業務を支援してきました。「サイトの状況が誰にも分からない」という悩みは、専任の情報システム担当を置けない中小企業に共通する課題と考え、「CASTER BIZ assistant」および「CASTER NEO Assistant」のサービス範囲をWebサイト運用の入口へ広げます。自社のフルリモート事業運営や数多くの企業の業務支援で蓄積してきた知見をもとに、「CASTER NEO Patch & Test」を提供します。

■ 「CASTER NEO Patch & Test」の特徴

本メニューは、サイトの「棚卸し」と「暫定テスト」を、キャスターのスタッフが社内AIを活用して行うものです。ご相談は、これまでと同じチャット窓口で受け付けます。AIが作成した回答案は、担当スタッフが確認してからお届けします。

1. 棚卸し
   ヒアリングシートで、サイトのCMS・プラグイン・PHPのバージョン・サーバー構成・SSL証明書の期限などをうかがいます。そのうえで、構成情報を台帳に整理し、本メニューで確認できる作業範囲と、その進め方をご報告します。脆弱性のニュースが出たときに、影響を受けるかを自社で判断するための材料になります。
2. 暫定テスト
   トップ・商品一覧・フォームの入力画面など、主要ページが普段どおり表示されるかを確認します。実決済・注文・会員登録・フォーム送信といった操作は行わず、管理画面は閲覧のみです。
3. ご報告
   画面キャプチャを添えて結果をご報告し、サイトの現状把握をサポートします。作業中に異常を見つけたときは、その場で作業を止め、ご連絡します。

■ 対応範囲

- 対応するもの： EC-CUBE、WordPress本体・プラグイン・テーマ、PHPのバージョン、レンタルサーバー・VPSの構成、SSL証明書の期限、お問い合わせ・予約・会員登録フォームの画面表示（棚卸しと暫定テストの範囲）
- 対象外のもの： 本番サイトへのパッチ適用、脆弱性診断やペネトレーションテスト（擬似攻撃による侵入検査）、実決済・注文・フォーム送信を伴うテスト、管理画面の設定変更、スクラッチ開発の業務システム、他社のサイト、既に発生した不正アクセス等の事故の調査・復旧

■ 料金

個別の料金プランは設けず、ご契約中の「CASTER BIZ assistant」「CASTER NEO Assistant」のご契約時間から消費してご利用いただけます。初期トライアルは、ご契約の利用可能時間の範囲内で実施し、実動1時間につき契約時間を1.2時間消費します。本トライアルの実施に伴う別途の金銭請求はありません。作業前に作業範囲・見積時間・消費時間上限をご提示し、ご承認をいただきます。承認済みの上限を超えるおそれがある場合は作業を停止し、追加の承認と利用可能時間を確認してから再開します。

- 棚卸し： 実動の目安10〜30時間（ご契約時間 12〜36時間分の消費 ）
- 暫定テスト： 実動の目安2〜4時間（ご契約時間 2.4〜4.8時間分の消費 ）

※サイトの規模・構成により時間は変わります。本メニューは、脆弱性や不具合がないことを保証するものではありません。

ご相談はこちら：https://cast-er.com/patch-test/

なお、本件が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

＜本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先＞
株式会社キャスター　広報担当（pr@cast-er.com）